

□ 要請番号 (JL56018B03)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
ベナン	A101 コミュニティ開発		個別	新規	2年	・ 2019/1 ・ 2019/2

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

社会問題・マイクロファイナンス省

2) 配属機関名 (日本語)

クルエカメ福祉センター

3) 任地 (クッフォ県クルエカメ市) JICA事務所の所在地 (コトヌー)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (車 で 約 3.0 時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

同省は、全国約80か所に福祉センターを配置し、地域の社会的弱者に対する支援を行っている。配属機関は1981年に設立。日本の市役所の福祉課の役割を担っている。具体的には、各種補助金の窓口業務、カウンセリング業務、障害者の生活支援、女性グループ支援、社会医療事業(医薬品購入補助等)、孤児などの児童支援(学費支援)を実施している。センター敷地内に洋裁と美容室のアトリエが設置されており、女子生徒(14~18歳6名)を対象に実践的な研修を行っている。年間予算は約40万円。同任地には感染症・エイズ対策JV1名が2019年6月まで活動予定。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

同センターは、地域住民の抱える問題に対応するため、相談業務及び諸手続きにかかる窓口業務を主に行っている。同センターを訪れる相談は月平均80件ほどであるが、業務担当スタッフは3名であり、慢性的な人員と資金不足を抱えており、同センター外となる地域住民の現状把握や支援も行き届いていない。同市を含むクッフォ県は「日陰地域」と呼ばれる地域で、特に女子の早婚、多産による貧困家庭の事情から学校を中退せざるを得ない児童・生徒が多い。こうした女子を対象に、センター内のアトリエで同センターの活性化とともに、地域内の社会的弱者を支援する啓発活動、生活向上支援が期待されている。前任者にあたるJV(家政・生活改善:2019年9月まで活動予定)は、センターにおける相談業務の統計補助や洋裁アトリエの女子生徒を指導し、技術向上、収入向上に貢献しているが、地域での啓発活動が期待され同要請に至った。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

配属先スタッフや地元ボランティアと連携し、以下の活動を行う。

- 地域内の社会的弱者(女性、子供、障害者、高齢者等)に対する啓発活動(センター利用促進、衛生・栄養改善)の企画・実施。
- 福祉センターが管轄する孤児院や女性グループ等の運営支援。
- 業務効率化のための書類整理、作成補助(パソコンを利用した書類作成指導等)
- 洋裁アトリエへの協力、成果品の販売促進。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

センター内執務室、足踏みミシン3台

4) 配属先同僚及び活動対象者

センター長(女性、40代)、
センター職員(男性30代と40代の2名)、以上3名はソーシャルワーカー

秘書
洋裁指導員(女性20代)、美容室指導員(30代)
アトリエの研修生(期間限定)
地域住民

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

その他

7) 選考指定言語

【資格条件等】

[免許]：（ ）

[学歴]：（ ） 備考：

[性別]：（ ） 備考：

[経験]：（ ） 備考：

[参考情報]：

- ・地域福祉活動(子供、障害者、高齢者)経験

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]：（熱帯雨林気候） 気温：（25～35℃位）

[電気]：（不安定）

[通信]：（インターネット可 電話可）

[水道]：（不安定）

【特記事項】

当国の住民の足はバイクタクシーであるが、JICAボランティアは利用できない。活動上の交通手段は自転車と徒歩のみに限られるため、体力が必要。